



2026 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 信 金 中 央 金 庫
代 表 者 名 理 事 長 須 藤 浩
(コード番号 8421 東証 優先出資証券)
問 合 せ 先 総 合 企 画 部 長 安 田 洋 央
(TEL. 03-5202-7624)

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末の有価証券含み損に関するお知らせ

本中金及び連結子会社の保有する有価証券（満期保有目的の債券）について、2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末における有価証券の含み損を算出した結果、その総額が以下のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象となる有価証券

(A) 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末の有価証券含み損の総額	671,575 百万円
(B) 2026 年 3 月期の連結経常利益の額 (A/B×100)	56,156 百万円 (1,195.9%)
(C) 2026 年 3 月期の親会社株主に帰属する当期純利益の額 (A/C×100)	43,006 百万円 (1,561.5%)

(注) 1. 「満期保有目的の債券」のうち、時価を合理的に算定できるもののすべてを対象としております。

2. 対象有価証券の帳簿価額 3,967,048 百万円
時 価 3,295,472 百万円

2. 今後の見通し

2026 年 5 月 20 日に公表しました 2027 年 3 月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、変更ございません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本中金が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上

(参考)

1. 本中金及び国内連結子会社の第 2 四半期（中間期）末は 9 月 30 日、海外連結子会社の第 2 四半期（中間期）末は 6 月 30 日であります。
2. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末における有価証券（満期保有目的の債券）の含み益及び差引含み損益は、以下のとおりであります。

(D) 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末の有価証券含み益の総額	1,154 百万円
(E) 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末の有価証券差引含み損益の総額 (D-A)	△670,420 百万円

3. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末における金利スワップによるヘッジ考慮後の有価証券（満期保有目的の債券）の差引含み損益は、以下のとおりであります※。

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）末のヘッジ考慮後の有価証券差引含み損益の総額	△361,381 百万円
---	--------------

※本中金では、金利スワップを活用した金利リスク・ヘッジを行っております。金利スワップにより、固定金利の利息収入を変動金利の利息収入に転換し、金利上昇時における固定金利の有価証券の含み損を抑制するものであります。